

# **第5次宮代町総合計画**

## **前期実行計画**

**(令和3年度～令和7年度)**

**令和3年度**

**下期進捗状況**

第5次宮代町総合計画前期実行計画 令和3年度下期進捗状況一覧表

事業名	ページ	結果	令和3年度下期実施結果	担当
西原自然の森活用事業(里山体験事業編)	1	完了	・市民団体との意見交換を踏まえたコンセプト原案の作成 ・自然体験イベントの実施及び協力者募集情報の発信	環境資源課
西原自然の森活用事業(移築民家活用編)	3	完了	・移築民家を活用したモデル事業(演奏会)の実施 ・(仮)移築民家活用計画の策定に向けた検討	教育推進課
新しい村魅力アップ事業	4	完了	・生産者等へのアンケート、利用者へのヒアリングの実施 ・調査結果の整理、求められる機能や役割の抽出	産業観光課
集落で支えあう営農事業	5	一部未完了	・準備委員会の定期的な開催 ・圃場整備構想図の作成	産業観光課
宮代農業人材育成事業	6	一部未完了	・就農希望者の受入 ・助言や機械の貸出支援を行う新規里親農家の確保	産業観光課
東武動物公園駅西口わくわくロード事業	7	一部未完了	・基本構想策定業務委託の発注 ・東武動物公園駅西口通り線の整備	まちづくり建設課
まちなかどこでもミュージアム事業	8	完了	・活動場所の探索性向上のための準備 ・文化芸術活動を後押しする体制づくり	教育推進課
みやしろズームアッププロジェクト	10	完了	・みんなが地域の特派員制度の創設 ・みやしろ再発見ワークショップの開催	総務課
遊休資源活用プロデュース事業	12	完了	・庁舎の現状確認及び遊休スペース活用計画の作成 ・民間施設の活用事例情報の収集	企画財政課
岸辺遊歩道整備事業	13	一部未完了	・地域の現状を踏まえた整備エリア(案)の検討 ・県の「川の国埼玉はつらつプロジェクト」の状況確認	まちづくり建設課
地域のオリジナルパークをつくらう!	15	完了	・モデル公園の選定に向けた地区・自治会への説明の実施 ・モデル公園の決定(2か所)	まちづくり建設課
宮代型デマンド交通事業	16	完了	・「高齢者等タクシー助成事業」の利用状況分析と課題検証 ・循環バスの令和5年度以降の運行計画の作成、承認	企画財政課
広域道路ネットワークの整備(都市計画道路整備)	18	一部未完了	・春日部久喜線及び新橋通り線の整備 ・春日部久喜線の延伸に向けた春日部市との調整	まちづくり建設課
東武動物公園駅東口にぎわいロード事業	20	一部未完了	・駅前広場及び東口通り線整備に関わる用地交渉の実施 ・東口通り線周辺における買い物支援(移動販売)の実施	まちづくり建設課
和戸駅周辺活性化事業	21	完了	対象エリア内の地権者の調査及び土地の利用状況の確認	まちづくり建設課
姫宮駅西側周辺活性化事業	22	一部未完了	都市計画決定に向けた県等関係機関との調整及び協議	まちづくり建設課
地域の力となる地区コミュニティセンター事業	23	完了	・地区コミュニティセンター開設に向けた実施計画の作成 ・学校再編の方向性を踏まえたモデル地区の決定	町民生活課
小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業	24	完了	・起業創業支援の体験ワークショップや講座の開催 ・創業促進事業補助金の新設と既存補助金の見直し	産業観光課
身近な場所で子育てサロン事業	26	一部未完了	・地域子育てサロンのモデル事業の実施 ・「みやしろで育てよう」への子育て応援隊ページの開設	子育て支援課
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業①	28	完了	・居場所づくり関係団体へのヒアリング及び報告書の作成 ・子どもの居場所づくりイベントの開催	子育て支援課
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業②	30	完了	・教育支援センターの基本コンセプト及び運用方法の決定 ・施設整備及び人材確保	教育推進課
進修館オープンカレッジ	32	一部未完了	モデル事業の実施(※新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和4年度に継続実施)	町民生活課
おかえりなさい!地域デビュー事業	33	完了	・「緑じよい通信」の発行 ・「緑じよい交流会」、「シニアはじめて講座」の開催	健康介護課
西原自然の森活用事業(新たな福祉の拠点づくり編)	35	一部未完了	・フードドライブステーションの設置及びボランティアの募集 ・福祉団体との相互連携によるイベントの実施	福祉課
若い世代の健康づくり促進事業	37	完了	・オンライン相談の利用促進に向けた周知、面接の実施 ・健康マイレージ事業利用拡大に向けたイベントの実施	健康介護課
人権・平和推進事業	39	完了	・人権問題合同研修会の実施 ・男女共同参画セミナー(動画配信)の実施、情報誌の発行	総務課 教育推進課
チームみやしろ会議	41	一部未完了	・チームみやしろ実験版の開催 ・町担当者としてキープレイヤーの橋渡し	企画財政課
みんなで備える防災力強化促進事業	42	一部未完了	・避難所開設実働訓練の実施 ・災害協定の拡充	町民生活課
高齢者困りごとサポート隊事業	44	完了	・高齢者向けサービスの情報伝達準備 ・助け合い活動グループの育成、支援	健康介護課
日工大サイエンスプロジェクト	45	完了	・大学と連携可能な単元についてのすり合わせの実施 ・中学校との情報交換会の実施	教育推進課
公共施設マネジメント計画2.0	46	完了	・無作為抽出市民ワークショップの開催 ・第2期公共施設マネジメント計画の策定	企画財政課
宮代町立小中学校適正配置事業	47	完了	小中学校の再編についての基本的な取組方針案の庁内検討及び議会報告の実施	教育推進課

完了=20事業(63%) 一部未完了=12事業(37%) 未完了=0

全32事業

※各事業シートについて、今回対象となる令和3年度下期実施結果及び令和4年度上期実施予定の背景を塗りつぶしています。

※結果(達成状況)について、次の場合は「一部未完了」または「未完了」としています。

・令和4年度上期においても継続して実施する取組がある場合 ※数値目標等がある場合を除く

・新型コロナウイルス感染症の影響により中止・延期とした取組がある場合 ※代替措置等を実施した場合を除く

企画趣旨

山崎山で市民団体とともに培った、事業や活動のノウハウと経験を活かし、西原自然の森においても、自然の魅力や大切さを知る体験事業や保全事業を市民とともに実施します。これにより、町の自然を守り育て、その魅力を発信する人材を生み出します。

〔移築民家活用編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業〕

成果目標（令和7年度までに）

新規ボランティアスタッフの確保 10人以上

里山体験イベントの実施 年3回以上、参加者100人以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. コンセプトづくり	町民生活課 ボランティア等	→				
2. 協力者確保	町民生活課	→				
3. イベント実施	町民生活課 ボランティア等		→			
4. 環境整備・管理	町民生活課 ボランティア等		→			
5. 情報発信	町民生活課	→				

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)コンセプトの検討 西原自然の森の特性を活かした活用法（コンセプト・手法）などについて、引き続き、市民参加による検討を進めます。</p> <p>(2)協力者の募集 森を守ったり、活用していく人材となる市民を募集します。</p> <p>(3)イベント実施・情報発信 森の魅力や、人々の活動の様子などを体験するイベントを実施するほか、各種情報媒体を活用して情報発信します。</p> <p>(4)環境づくりの準備 引き続き、人々の活動に必要な環境を整えるための準備を行います。</p>	<p>(1)コンセプトの検討 山崎山保全ボランティアとの意見交換を踏まえ、「生物多様性」と「保護と継承」をキーワードに据えたコンセプトの原案を作成しました。</p> <p>(2)協力者の募集 イベント実施を通じて、協力者となる可能性のある参加者とのつながりができました。</p> <p>(3)イベント実施・情報発信 西原自然の森活用事業の担当3課（町民生活課、教育推進課、福祉課）のほか、関係各所と連携し、西原自然の森の魅力向上と協力者の募集情報発信などを行うため、西原自然の森フェスタ2021を開催しました。</p> <p>西原自然の森の竹を活用した「竹灯ろうアート」制作（11月20、27日・参加者8名・作品数23） 展示（12月4、5日・来場者80名）</p> <p>(4)環境づくりの準備 イベント実施用の屋外電源設置を行うための令和4年度の予算措置を行いました。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了	

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)コンセプトづくり 「生物多様性」「保護と継承」をキーワードとしたコンセプト原案をさらに深め、具体化します。</p> <p>(2)協力者確保 イベントを通じ、森を守ったり、活用していく人材となる市民を募集します。</p> <p>(3)イベント実施・情報発信 市民協力者との協働により、(仮)西原自然の森ミニフェスタを開催し、自然観察や竹工作など、主に子どもを対象とした体験イベントを行います。また、下期に開催予定の(仮)西原自然の森フェスタ 2022 に向けて、関係課や市民協力者との準備作業や情報発信を行います。</p> <p>(4)環境整備・管理 イベント実施用の屋外電源設置を行います。</p>	
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

## 企画趣旨

福祉拠点として再整備される旧ふれ愛センターとともに西原自然の森の魅力を高めるため、「旧加藤家」「旧齋藤家」「旧進修館」を古い建物の特性を生かした美術作品の展示や音楽活動などの文化活動や体験講座、地域活動ができる場所とします。

[里山体験事業編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

## 成果目標（令和7年度までに）

新たな仕組みに基づく新規事業 年3回以上

## 実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. モデル事業の実施	教育推進課	→				
2. 仕組みづくりと運用準備	教育推進課		→			
3. 活用支援	教育推進課			→		

## 進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<b>(1)モデル事業の実施</b> モデル事業として、12月に「西原自然の森フェスタ2021」を開催し、移築民家を活用した音楽会や展示会を実施します。 <b>(2)仕組みづくりと運用準備</b> ・文化財保護委員会にて移築民家活用に対する意見聴取を行います。 ・(仮)移築民家活用計画の策定に向けて検討を行います。	<b>(1)モデル事業の実施</b> 西原自然の森フェスタ2021を開催(12月4、5日)し、ナイトミュージアム(開館時間を18時まで延長)やじゃぶじゃぶ池跡地及び旧加藤家住宅において「こぶし10(テ)」のメンバー8名によるオカリナの演奏会を開催(来場者30名)しました。 <b>(2)仕組みづくりと運用準備</b> 第2回文化財保護委員会(2月20日・書面開催)において意見聴取を実施し、第3回委員会(3月23日)にてその意見の概要を報告しました。 モデル事業や文化財保護委員会からの意見などを踏まえて、(仮)移築民家活用計画の策定に向けた検討を行いました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

## 進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<b>(1)モデル事業の実施</b> (仮)西原自然の森ミニフェスタ「西原自然の森に行こう！」(7月末開催予定)において、子ども向け体験講座を実施します。 <b>(2)仕組みづくりと運用準備</b> 令和4年度第1回文化財保護委員会(6月開催予定)において、前年度の意見聴取の結果を踏まえて、今後の活用方法の検討などを行います。 また、旧加藤家住宅、旧進修館といった指定文化財である建造物を可能な限り活用するための(仮)移築民家活用計画を作成します。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

「新しい村」を整備してから約 20 年。直売施設の増加やインターネット販売の普及など取り巻く状況も大きく変わりました。着地型観光という視点も含めて、調査・分析を行い、「新しい村」の魅力を高める計画を策定し、「新しい村」をより魅力的な空間へと変えていきます。

成果目標（令和7年度までに）

新しい村魅力アッププランの策定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 新しい村の現状分析・課題整理	産業観光課 新しい村	→				
2. 持続可能な経営モデルの調査研究	産業観光課		→			
3. 新しい村周辺農地の地権者意向調査	産業観光課		→			
4. 新しい村魅力アッププランの策定	産業観光課		→			

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<b>新しい村の現状分析と課題整理</b> 上期に引き続いて現状分析及び課題整理を進めるため、新しい村に関わる方々の意見を意向調査やヒアリングにより把握するほか、消費者の動向調査等を行い、各種の調査結果から新しい村に求められる機能をまとめます。	<b>新しい村の現状分析と課題整理</b> 新しい村に関わる方々の意見を把握するため、新しい村森の市場結の生産者（農家・商業者等）を対象にアンケート調査を実施したほか、新しい村に携わる方や利用者からヒアリングを行いました。 また、関東圏在住の方を対象に web アンケート（回答数：500）を実施しました。これらの調査結果から新しい村に求められる機能や役割をまとめました。
	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了	

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<b>新しい村の現状分析・課題整理</b> 無作為抽出により選出した市民と新しい村森の市場結生産者等によるワークショップを4月下旬に開催し、新しい村に必要な機能を市民参加で考えます。 また、7月に検討委員会を立ち上げ、市民参加による方針の検討を行います。	
	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了	

企画趣旨

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくために、農業生産の効率化・省力化を図るとともに、農地集積化を推進し、農作業環境の向上を図ります。

成果目標（令和7年度までに）

宮東・中島地区における20ha以上の農地集積化と基盤整備(100%)

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 現地調査	埼玉県 産業観光課 地権者	→				
2. 事業計画策定及び地権者同意	埼玉県 産業観光課 地権者		→			
3. 用地測量及び実施設計	埼玉県 産業観光課			→	→	
4. 整地工事	埼玉県 産業観光課				→	→

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p><b>宮東・中島圃場整備事業の理解促進</b> 宮東・中島圃場整備事業について、地権者の理解を深め、地区における圃場整備の必要性を認識し、地元が一体となって圃場整備事業に取り組む機運を醸成します。 そのために、①準備委員会の定期的な開催、②圃場整備構想図の作成と地権者への説明、③仮同意の意向確認を実施します。</p>	<p><b>宮東・中島圃場整備事業の理解促進</b> 準備委員会を定期的(全4回:10月13日、11月19日、12月23日、1月20日)に開催し、圃場整備構想図の作成を実施しました。この構想図を基に2月に地権者説明会及び仮同意の意向確認を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とし、令和4年4月の実施に向けて調整を行いました。</p>
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input checked="" type="checkbox"/>一部未完了</p>

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p><b>(1)事業計画策定及び地権者同意</b> 4月に地権者説明会を実施し事業内容の認識を高め、仮同意の意向確認を基に同意率100%に向けて地権者と調整を行います。これと並行して準備委員会を定期的に開催し、整備区域の調整及び事業計画策定のための準備を実施します。</p> <p><b>(2)現地調査の実施</b> 基礎調査(土壌調査、地耐力調査、用地調査)を実施するために、春日部農林振興センターとのスケジュール調整を実施します。</p>	
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

企画趣旨

就農希望者のための実践的な研修環境を整え、将来の宮代農業を支える骨太な若手農業者を育成します。

成果目標（令和7年度までに）

新規就農者の確保 5人以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 事業計画の策定	産業観光課	→				
2. 就農希望者の受入	産業観光課	→				
3. 農業用栽培施設レンタル制度の創設	産業観光課 新しい村		→			
4. みやしろ型市民農業大学の実施	産業観光課			→		

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<b>就農希望者の受入</b> 農業担い手塾で新たな就農希望者を受け入れるため、引き続き、ホームページに募集要項を掲載し、周知を行うとともに、新・農業人フェア等の就農相談会へ出展します。 また、入塾申請のあった方に対する入塾審査を実施し、入塾許可となった場合には研修実施の準備を進めます。	<b>就農希望者の受入</b> 新たな就農希望者を受け入れるため、ホームページに募集要項を掲載して塾生の募集を通年で実施しました。なお、出展を予定していた「新・農業人フェア」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出展を取り止めました。 また、入塾審査（10月27日）を経て新たな塾生として1名（9期生：男性）が実践研修を開始（2月1日～）しました。なお、9期生の受入に際しては、新たな里親農家（農業技術支援農家及び農業生産基盤支援農家）を2名確保し、助言及び農業機械等の貸出等の支援を行っていくことになりました。
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<b>(1)就農希望者の受入</b> 農業担い手塾で新たな就農希望者を受け入れるため、引き続き、ホームページに募集要項を掲載し、周知を行います。また、入塾申請のあった方に対する入塾審査を実施し、入塾許可となった場合には研修実施の準備を進めます。	
	<b>(2)農業用栽培施設レンタル制度の創設</b> 新しい村の育苗用ハウスを活用し、農業担い手塾の塾生の野菜栽培用ハウスとして貸出する制度を構築します。	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

駅から東武動物公園、新しい村までを、町民・観光客・事業者と共にアイデアを出し合いながら、歩いて楽しく、わくわくするような道に整備し、西口エリアの価値を高めます。あわせて、駅西口区画整理エリアの土地活用を促進します。

成果目標（令和7年度までに）

東武動物公園駅西口わくわくロードの完成（100%）

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）					
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
1. 市民参加によるコンセプトの決定	まちづくり建設課	→					
2. 概略設計・整備エリア決定	まちづくり建設課		→				
3. 関係機関協議	まちづくり建設課		→				
4. 実施設計	まちづくり建設課			→			
5. わくわくロード整備工事	まちづくり建設課				→		

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1) 市民参加によるコンセプトの検討準備 アドバイザー（コンサル等）を選定し、市民参加の方法、検討組織及びメンバーの検討を行うとともに、社会実験やワークショップを行い、西口周辺エリアの課題や問題点等の整理を行います。	(1)市民参加によるコンセプトの検討準備 基本構想策定業務委託を発注し、検討組織やメンバーの選定、スケジュール等について調整を実施しました。（2回） また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ワークショップは延期となりましたが、駅前広場において市民参加が主体となった演奏会などの社会実験を実施しました。（2回）
	(2)（都）東武動物公園駅西口通り線の整備 （都）中央通り線（町道第91号線）と県道春日部久喜線の交差点改良の測量・設計を進め、工事発注に向けた準備を進めます。	(2)（都）東武動物公園駅西口通り線の整備 （都）中央通り線（町道第91号線）と県道春日部久喜線の交差点改良の工事発注に向け、測量・設計が完成しました。
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)市民参加によるコンセプトの検討 アドバイザーとともに市民参加の検討組織メンバーを選定し、社会実験やワークショップを実施します。また、まちづくりについての講演会を実施します。	
	(2)（都）東武動物公園駅西口通り線の整備 （都）中央通り線（町道第91号線）と県道春日部久喜線の交差点改良工事を発注します。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

既存施設や飲食店など、気軽に美術作品の展示や小さな演奏会ができるスペースを募集し、まちなかにおける作品展や音楽会の開催を促します。このことで地域の人材を発掘し、地域に人々の集まる新しい場所を生み出します。

成果目標（令和7年度までに）

飲食店等やアーティストが主体となった（仮称）アートウィークの開催 年1回以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 飲食店などで行う作品展や演奏会の実施方法の検討	教育推進課	→				
2. アーティストと飲食店等のマッチング	教育推進課		→	→	→	→
3. （仮称）アートウィークの開催	教育推進課 参加者		→	→	→	→
4. （仮称）アートウィークの実施方法の検証と見直し	教育推進課		→	→	→	→

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	町内の文化・芸術活動を支援する仕組みの検討 今後の行動プラン案をもとに、各公共施設の管理担当と調整を図りながら、文化芸術活動の場の整理、周知の準備を行います。また、活動を支援するための仕組みを検討し、文化芸術活動を後押しする体制を整えます。	町内の文化・芸術活動を支援する仕組みの検討 町ホームページ上に散らばる公共施設情報を集約し、活動場所の検索性を向上させるための準備を行いました。 また、文化芸術活動を後押しする体制の一つとして、活動を支援するための物品等を整備できるよう予算を確保するとともに、アーティスト等とのマッチングモデル事業として、3月に開催された西原自然の森での作品展や演奏会の支援を行いました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)飲食店などで行う作品展や演奏会の実施方法の検討                      前年度に検討した文化芸術活動を後押しするための仕組みについて、関係課とも調整しながら運用方法などについて検討を進めます。                      また、（仮称）アートウィークの開催に向けて、実施内容や方法、期間などについて、関係団体とも協議しながら検討を進めます。</p> <p>(2)アーティストと飲食店等のマッチング                      公共施設を表現活動の場として、より利用してもらえるよう、町ホームページ上に公共施設情報やリンクを一か所に集約し、情報の検索性を向上させます。                      また、アートを介して地域に人々が集まれる場を広げていくため、公共施設や飲食店などで展開されるアートイベント情報を募集し、町ホームページや SNS にて町内外に広く発信します。</p>	
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

企画趣旨

町の魅力の情報発信力向上を図るため、地元の魅力を再発見し、掘り下げ、自らの言葉で発信する人材を生み出します。

成果目標（令和7年度までに）

地域特派員 10人

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1.（仮称）「みんなが地域の特派員」制度の創設	総務課	→				
2. みやしろ再発見ワークショップの開催	総務課	→	→	→		
3.（仮称）「みんなが地域の特派員」制度の周知と制度参加者の拡大	総務課		→	→	→	→

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)広報特派員制度の創設 みんなが地域の特派員制度を創設し、特派員のスキルアップ研修等を行います。</p> <p>(2)みやしろ再発見ワークショップの開催準備 ・12月に西原自然の森フェスタにて「#みやしろまち写真展」を開催します。また、会場で簡単なワークショップを実施します。 ・地元の魅力を再発見するためのワークショップ開催の検討を行います。 ・公式ハッシュタグ「#みやしろまち」の使い手を増やすため、引き続き写真コンテストを開催します。</p>	<p>(1)広報特派員制度の創設 みんなが地域の特派員制度を創設し、募集要項を整備し、特派員の募集を行いました(下期1名増、計12名)。3月に「コンテンツ制作の心得」と題し実施した特派員のスキルアップ研修では、実際に行われているイベントで実地研修を行いました。</p> <p>■【動画】下期放送局特派員投稿動画数14本 ワクチン会場用動画(★)・地産地消料理レシピ(★)・男女共同参画セミナー動画(★)、市民団体動画、町イベント動画など ※(★)は町からの依頼</p> <p>■【写真】広報掲載記事2記事 宮代花だより</p> <p>(2)みやしろ再発見ワークショップの開催 ・西原自然の森フェスタ2021(12月)、無印良品東武動物公園駅前(1月)にて開催した「#みやしろまち写真展」にて、みやしろ再発見ワークショップ(教えて!あなたのみやしろーかるすぽっと★)を同時開催し、町内外の方から、約140スポットの書き込みをいただきました。 ・公式ハッシュタグ「#みやしろまち」のPR、使い手を増やすため、写真コンテストを開催しました。</p> <p>■秋部門 期間:9月15日~12月15日 作品数:354作品(アカウント数17)</p> <p>■冬部門 期間:12月1日~3月15日 作品数:306作品(アカウント数16)</p> <p>・コンテスト入賞作品掲載の#みやしろまちカレンダーの製作、配布(500部)を行いました。</p>

	実施予定	実施結果
下期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮代町外交官の片桐仁さんの作品展(3月)にてズームアッププロジェクトのPRを行いました。</li> <li>・民間団体主催の月イチまんまるに出店(3月)し、ズームアッププロジェクトのPR、『#みやしろまちを使って投稿してみよう』を開催しました。</li> </ul>
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)みやしろ再発見ワークショップの開催 宮代町の魅力を発信する公式ハッシュタグ『#みやしろまち』や『みやしろ一かる』を広めるためのコンテストや写真展等を開催します。</p> <p>(2)(仮称)「みんなが地域の特派員」制度の周知と制度参加者の拡大 特派員と毎月の情報交換会で意見交換しながら、みんなが地域の特派員制度を進めていきます。また、特派員のスキルアップ研修の開催検討を行います。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

官・民を問わず、それぞれが所有する土地や施設などの遊休資源と人・団体等を結びつけ、町の様々な場所での活動の拠点づくりを行います。提案に対する場所の募集と場所に対する提案の募集の2つを柱として行います。

成果目標（令和7年度までに）

活用実績 10件

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 普通財産カルテの作成	企画財政課	→				
2. 庁舎の遊休スペース活用計画の作成	企画財政課		→			
3. 活用事業の実施	企画財政課		→			
4. 民間施設の活用事例の収集・公表	企画財政課	→				

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1) 庁舎の遊休スペース活用計画の作成 庁舎内の現状を整理し、遊休スペース活用計画を作成します。	(1) 庁舎の遊休スペース活用計画の作成 庁舎内の現状を整理し、活用できる場所や人を整理した遊休スペース活用計画を作成しました。
	(2) 民間施設の活用事例の収集 民間施設の活用事例情報の収集・整理を行います。	(2) 民間施設の活用事例の収集 民間施設の活用事例情報の収集を行いました。引き続き情報の収集整理を行っていきます。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1) 活用事業の実施 庁舎活用計画にもとづき、庁舎内スペースを有効活用する提案のテスト実証をします。	
	(2) 民間施設の活用事例の収集・公表 民間施設の活用事例情報の収集・整理を行います。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

備前堀川等において、自治会や地域の関係団体などと共にアイデアを出し合い、地域に親しまれ愛される遊歩道や水辺を整備します。

成果目標（令和7年度までに）

公園・遊歩道の整備 満足度 50% ※住民意識調査 令和元年度 43.6%

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 市民参加による岸辺遊歩道等の整備方針の検討	まちづくり建設課	→				
2. 備前堀川等の遊歩道整備	まちづくり建設課		→			
3. 既存遊歩道の整備	まちづくり建設課		→			
4. 古利根川の活用促進に合わせた良好な水辺空間の創出の検討	まちづくり建設課 産業観光課	→				

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)市民参加による整備方針の検討 整備エリア(案)を基に地域の要望等を確認し、整備エリアの検討を行います。 (2)良好な水辺空間の創出の検討 引き続き、埼玉県及び杉戸町と協力し、水辺空間の魅力を高めます。	(1)市民参加による整備方針の検討 新型コロナウイルス感染拡大により、地域の要望等の確認を行うことが難しい状況が続いているため、担当職員で備前堀川や健康マッ歩の状況、和戸立体交差に伴う人道橋の整備を考慮し、再度整備エリア(案)の検討を行いました。 (2)良好な水辺空間の創出の検討 東武動物公園駅東口の古利根川の杉戸町側の護岸で行われている、埼玉県の川の国埼玉はつらつプロジェクト（川のまるごと再生）についての状況確認を行い、宮代町側での実施について検討を行いました。
		□完了 □未完了 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上 期	<p>(1)市民参加による岸辺遊歩道などの整備方針の検討 整備エリア（案）を基に地域の要望等を確認し、整備エリアの調査委託の発注準備を行います。</p> <p>(2)備前堀川等の歩道整備 備前堀川等の遊歩道の道路パトロールを実施し、危険箇所や老朽化箇所の修繕を行います。</p> <p>(3)既存遊歩道の整備 健康マッパなどの既存遊歩道の道路パトロールを実施し、危険箇所や老朽化箇所の修繕を行います。</p> <p>(4)古利根川の活用促進に合わせた良好な水辺空間の創出の検討 引き続き、埼玉県及び杉戸町と協力し、水辺空間の魅力を高めます。また、埼玉県の川のはつらつプロジェクト（川のまるごと再生）の宮代側での実施について、引き続き検討を行います。</p>	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

## 地域のオリジナルパークをつくろう！

まちづくり建設課

### 企画趣旨

身近な街区公園等を一律に“児童公園”として位置付けるのではなく、人々のライフスタイルに合わせて、それぞれが特色のある“場”となるように再整備し、地域の人が集まる憩いの場（青空カフェ、移動販売、健康づくりパークなど）を地域の皆さんとともに作りあげます。

### 成果目標（令和7年度までに）

公園の整備 2か所

### 実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. モデル公園検討	まちづくり建設課	→				
2. 公園整備計画検討・策定	まちづくり建設課		→			
3. 公園整備	まちづくり建設課			→		
4. 事業実施	まちづくり建設課				→	
5. 評価検証	まちづくり建設課					→

### 進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	モデル公園の検討 条件等にあった地区・自治会に個別に説明を行い、意見交換等を行いながらモデル公園を決定します。	モデル公園の検討 モデル公園の要件を満たす6公園の地区・自治会に説明を行い、意見交換等を行いながらモデル公園2か所(宮代台中央公園、学園台けやき公園)を決定しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

### 進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	公園整備計画検討・策定 地区・自治会と検討方法(アンケート・ワークショップ等)について協議し、決定した市民参加の手法等を用いながら、地域が求める公園を検討していきます。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

循環バスのルートでないエリアや身体的な理由で循環バスが利用できない方の交通需要に対応するため、宮代町の地勢や特性に合ったデマンド交通を導入します。

成果目標（令和7年度までに）

高齢者が外出を控えている理由「交通手段がない」10%以下  
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 令和元年度 15.8%

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. タクシー助成制度の実証実験の実施	企画財政課	→				
2. 実証実験を踏まえた効果と課題の検証	企画財政課		→			
3. 循環バスの次期契約に向けた運行内容の見直し	企画財政課		→			
4. タクシー助成制度の本格実施、次期循環バスの運行	企画財政課			→		

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)実証実験を踏まえた効果と課題の検証 タクシー助成券がどのように使用されているか利用状況を分析し、課題を検証します。 (2)循環バスの次期契約に向けた運行内容の見直し 日常の交通行動や公共交通の利用に関する意向などを把握するため、バス利用者等にアンケートを実施します。また、次期運行計画に向けた宮代町地域公共交通会議を開催します。	(1)実証実験を踏まえた効果と課題の検証 令和3年度の利用実績（延べ8,762回、利用金額3,504,800円）から、タクシー助成利用者と循環バス利用者の移動目的別に利用回数を比較すると、その割合に傾向が見られました。（タクシー：通院 36% 買い物 7.5%、バス：通院 20% 買い物 21% など）また、補助金増額についての要望が複数ありました。 (2)循環バスの次期契約に向けた運行内容の見直し 循環バスの次期契約に向けた運行内容見直しのため、11月に交通行動調査(2,000件送付・回答708件)とバス利用者アンケート(回答67件)を行いました。また、それらの結果を参考に宮代町地域交通会議を2回開催(2月4日・書面会議、3月24日)し、令和5年度からの新規運行計画が承認されました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)タクシー助成制度の実証実験の実施 75歳以上の高齢者等にタクシー助成券を交付する「高齢者等タクシー助成事業」を継続します。（予定1,500件）</p> <p>(2)実証実験を踏まえた効果と課題の検証 タクシー助成券がどのように使用されているか利用状況を分析し、引き続き課題を検証します。</p> <p>(3)循環バスの次期契約に向けた運行内容の見直し 令和5年度からの運行業者を選定し、関係機関との調整を行います。</p>	
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

広域道路ネットワークの整備（都市計画道路整備）

まちづくり建設課

企画趣旨

利便性の高い近隣市町への広域道路ネットワーク構築のため、都市計画マスタープランに基づく都市計画事業整備計画において優先順位を定め、計画的な整備を進めます。

成果目標（令和7年度までに）

- （都）春日部久喜線（町道第12号線）の整備完了
- （都）春日部久喜線（町道第252号線）の都市計画決定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1.（都）春日部久喜線（町道第12号線）の整備	まちづくり建設課	用地買収			整備工事	
2.（都）春日部久喜線（町道第252号線）の延伸	まちづくり建設課					
3.（都）万願寺橋通り線（町道第75号線）の整備（設計）	まちづくり建設課					
4.（都）新橋通り線（町道第148号線）の整備	まちづくり建設課					

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)（都）春日部久喜線（町道第12号線）の整備 引き続き、支障となる用地の取得を目指し、地権者との交渉を進めます。また、買収済みの箇所について整備を進めます。 (2)（都）春日部久喜線（町道第252号線）の延伸 春日部市の市街化編入と歩調を合わせ、都市計画決定を行います。 (3)（都）新橋通り線（町道第148号線）の整備 引き続き、早期完成に向けて、埼玉県に対して積極的な用地買収の実施を要望します。	(1)（都）春日部久喜線（町道第12号線）の整備 支障となる用地の取得を目指し、権利者との交渉を進めました。 また、上期に発注した工事については完了しました。 (2)（都）春日部久喜線（町道第252号線）の延伸 春日部市の市街化編入の進捗状況の確認や、今後の費用負担等に関する検討会議を開催(3回)し、基本協定締結に向けた調整を行いました。 (3)（都）新橋通り線（町道第148号線）の整備 新橋通り線の早期完成に向けて、埼玉県に対して先行買収を要望し、物件の補償調査(3件)を実施しました。 また、都市計画道路事業が認可(3月17日)されました。
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1) (都) 春日部久喜線（町道第 12 号線）の整備 引き続き、支障となる用地の取得を目指し、地権者との交渉を進めます。また、買収済みの箇所について整備を進めます。</p> <p>(2) (都) 春日部久喜線（町道第 252 号線）の延伸 引き続き、春日部市の市街化編入と歩調を合わせ、都市計画決定を行います。</p> <p>(3) (都) 新橋通り線（町道第 148 号線）の整備 引き続き、早期完成に向けて、埼玉県に対して積極的な用地買収の実施を要望します。</p>	
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

企画趣旨

駅東口の地域の魅力とアクセス性を向上させるため、駅前広場や都市計画道路を一体的に整備し、他自治体と広域的につながるターミナルとしての機能を高めます。

成果目標（令和7年度までに）

東武動物公園駅東口駅前広場の完成（100%）

東武動物公園駅東口通り線の完成（100%）

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 物件調査（単価入替等）・鑑定評価	まちづくり建設課	→				
2. 用地交渉	まちづくり建設課	→				
3. 用地・物件補償	まちづくり建設課	→				
4. 関係機関協議・実施設計	まちづくり建設課		→			
5. 整備工事	まちづくり建設課		→			

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p><b>用地交渉の実施</b> 引き続き、駅前広場及び東口通り線整備に関わる用地の取得を目指し、地権者との交渉を進めます。</p>	<p><b>用地交渉の実施</b> 地権者との交渉を進め、駅前広場（1件、1権利者）及び東口通り線（1件、2権利者）の契約を締結しました。 また、地域の魅力や利便性の向上のため、東口通り線周辺における買い物支援として、百間通り線用地にて移動販売を実施しました。</p> <p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input checked="" type="checkbox"/>一部未完了</p>

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)物件調査（単価入替等）・鑑定評価 年度中に契約の内諾を頂いた権利者について物件調査（単価入替等）・土地の鑑定評価の委託等を発注します。</p> <p>(2)用地交渉 駅前広場及び東口通り線整備に関わる用地の取得を目指し、地権者との交渉を進めます。</p> <p>(3)用地・物件補償 用地・物件補償額の概算額を提示し、契約に向けて交渉を進めます。</p> <p>(4)公共空間活用の検討 駅前広場及び東口通り線の公共空間を活用した社会実証実験実施の検討を進めます。</p>	<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

企画趣旨

都市計画道路国納橋通り線や都市計画道路万願寺橋通り線の整備に合わせて、産業系土地利用を検討し、民間企業の立地誘導による地域の活性化を促進します。

成果目標（令和7年度までに）

- 土地利用・事業手法の決定
- 事業区域の決定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 関係機関との調整	まちづくり建設課	—————▶				
2. 土地・権利者調査	まちづくり建設課	▶				
3. 事業化検討調査	まちづくり建設課		▶			
4. 地元調整・企業意向確認	まちづくり建設課		—————▶			
5. 事業推進調査	まちづくり建設課				—————▶	

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下 期	土地・権利者の調査 和戸駅周辺区域の地域特性を確認し、現状や課題を引き続き整理します。	土地・権利者の調査 対象エリア内の登記簿により権利者等を調査し、あわせて土地等の利用状況を確認しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上 期	(1)関係機関との調整 産業系の土地利用を目指して、関係機関との協議を進めます。	
	(2)事業化検討調査 現在の土地利用や公共施設整備状況等をもとに、実現性の高い事業手法について調査・検討していきます。	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

北春日部方面への都市計画道路の整備に合わせて、産業系土地利用を検討し、民間企業の立地誘導による地域の活性化を促進します。

成果目標（令和7年度までに）

（都）春日部久喜線（町道第252号線）の都市計画決定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 関係機関協議、説明会開催	まちづくり建設課	→				
2. 都市計画決定手続き	まちづくり建設課	→				
3. 用地・補償交渉	まちづくり建設課		→			
4. 都市計画道路整備	まちづくり建設課			→		
5. 産業系土地利用及び立地誘導等の検討	まちづくり建設課			→		

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	関係機関との協議 （都）春日部久喜線都市計画決定に向けて関係機関との協議を引き続き進めます。	関係機関との協議 埼玉県等関係機関と都市計画決定に向けて調整及び協議を行いました。
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	都市計画決定手続き（関係機関協議、説明会開催） （都）春日部久喜線都市計画決定に向けて住民説明会等手続きを進めます。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

地域コミュニティや地区・自治会のサポートをする地区担当者を配置します。また、その拠点として、既存の施設を（仮称）地区コミュニティセンターとして活用し、新たなつながりが生まれる場、地域における自治会活動や市民活動をサポートする場とします。

成果目標（令和7年度までに）

地区コミュニティセンターの開設 2か所

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 具体的な実施計画の作成	町民生活課 関係課	→				
2. モデル地区の選定と開設スケジュール等の作成	町民生活課		→			
3. モデル地区のコミセン開設	町民生活課			→	→	→
4. モデル地区の運営と次地区の開設準備	町民生活課				→	
5. 2か所目の地区コミセン開設	町民生活課					→

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)実施計画の作成 具体的な実施計画を作成します。 (2)モデル地区の選定と開設スケジュール等の作成 地区連絡会でのアンケート等を参考にモデル地区を選定します。また、令和4年度の具体的なスケジュールを検討します。	(1)実施計画の作成 令和5年4月からの地区コミュニティセンター（モデル地区）の開設に向けて、3月に関係課を含む庁内会議を行い、具体的な実施計画を作成しました。 (2)モデル地区の選定と開設スケジュール等の作成 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区連絡会は中止となりましたが、学校再編（須賀小学校の再整備）の方向性を踏まえ、須賀地区（和戸駅周辺）をモデル地区としました。また、実施計画に令和4年度のスケジュールを設定しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	モデル地区の選定と開設スケジュール等の作成 実施計画をもとに和戸駅周辺の開設場所（物件候補）を検討し、選定します。また、地域の現状と課題を認識してもらうために、地域別の人口や世帯構成、高齢化率等をまとめた地域カルテを作成します。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業

産業観光課

企画趣旨

宮代町での起業を促進するため、空き店舗や公共施設の空きスペース等をチャレンジショップとして、起業志望者に提供する仕組みづくりを行います。また、複数店が連続して空き店舗となったエリアについては、貸主などと連携して、特色のあるエリアの形成を促します。

成果目標（令和7年度までに）

町の支援策を利用した起業者 15人以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 起業創業支援講座の開催	産業観光課	月3万円ビジネス講座 →		創業セミナー →		
2. チャレンジショップの开店準備	産業観光課	→				
3. チャレンジショップの運営	民間 産業観光課 商工会		→			
4. 起業創業準備支援	産業観光課	→				

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1) 起業創業支援講座の開催 ・「月3万円ビジネス講座」体験ワークショップを11月に開催します。6回の連続講座を12月から3月にかけて開催します。 ・創業セミナー参加者のフォローアップを実施します。</p> <p>(2) チャレンジショップの开店準備 チャレンジショップによる支援の内容を整理し、補助金や情報発信などの制度を設計します。</p> <p>(3) 起業創業準備支援 新型コロナウイルスの感染状況を見極めてマルシェの開催を判断します。上記チャレンジショップの制度設計とあわせて、補助制度を見直します。</p>	<p>(1) 起業創業支援講座の開催 「月3万円ビジネス講座」体験ワークショップを開催（11月19日・参加者32名）、6回の連続講座を実施（12月～3月・参加者12名）。また、中小企業診断士による創業セミナー参加者の対面フォローアップを実施（参加者4名）。</p> <p>(2) チャレンジショップの开店準備 一定の条件をみたしたシェアキッチンやマルシェをチャレンジの場として設定。これに合わせて、宮代町商工業活性化補助金を見直したほか、マルシェの開催を支援する補助金を創設。あわせて、こうした制度を発信するため、ウェブサイト「宮代で働こっ」のコンテンツの追加修正を設計しました。</p> <p>(3) 起業創業準備支援 町主催マルシェについては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて実施しませんでした。また、宮代町商工会の協力を得て、宮代町創業促進事業補助金制度を創設しました。</p>

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p><b>(1)起業創業支援講座の開催</b>                      令和3年度の実施結果を踏まえて、月3万円ビジネス講座(3 Biz)の実施内容を企画します。また、引き続き創業セミナーを開催し、新たな試みとしてシニア向け起業創業講座を企画します。</p> <p><b>(2)チャレンジショップの運営</b>                      チャレンジの場となる民間施設、マルシェの情報を収集します。これにあわせてウェブサイト「宮代で働こっ」を改修し、情報発信を始めます。</p> <p><b>(3)起業創業準備支援</b>                      宮代町創業促進事業補助金制度、宮代町商業活性化事業補助金制度（空き店舗活用事業）、宮代町マルシェ開催事業補助金制度による支援を実施します。また、将来の起業家の芽を育てるため、仮称「町内の事業者の話を聞く会」を中学校で開催します。</p>	
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

企画趣旨

子育て中の方が孤立しないように、身近な飲食店や集会所等で地域の皆さんが実施する地域子育てサロンの開設・運営をサポートします。

成果目標（令和7年度までに）

地域主体の子育てサロンの運営 3か所以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 地域子育てサロンのモデル事業の実施	子育て支援課	→				
2. サロンの開設や運営のための支援策の検討	子育て支援課	→				
3. 地域主体の子育てサロンの運営開始	地域主体の子育てサロン			→		
4. 子育て情報サイトのリニューアル	子育て支援課			→		

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)地域子育てサロンのモデル事業の実施 地域子育てサロンのモデル事業を毎月実施し、引き続き、開催内容や方法について検証します。</p> <p>(2)サロン開設や運営のための支援策の検討 今年度の実施状況を踏まえ、来年度から試験的に実施する支援策について検討します。</p> <p>(3)「子育て応援隊」の仕組みづくり 子育て応援サイト「みやしろで育てよう」内に「子育て応援隊」ページを開設し、更に登録者が増えるように広報掲載やチラシの配布をするなどのPRを行います。</p>	<p>(1)地域子育てサロンのモデル事業の実施 下期も上期同様、企画委員の運営によるモデル事業と座談会（10月：92組、11月：13組、12月：10組、企画委員との座談会8組）を開催し、今までの開催方法などを踏まえて今後のサロンについて検討を行いました。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1月から3月までの事業は中止となりました。</p> <p>(2)サロン開設や運営のための支援策の検討 今年度の実施状況を踏まえ、来年度から試験的に実施する支援策（子どもを受け入れるために必要な備品の補助、ワークショップ開催時の講師や保育士等の派遣等）について検討しました。</p> <p>(3)「子育て応援隊」の仕組みづくり 子育て応援サイト「みやしろで育てよう」内に「子育て応援隊」ページを開設し、地域子育てサロンで活動している店舗や個人に向けて、登録の依頼を呼びかけるため広報掲載やホームページに掲載しました。（個人登録4名、団体登録4団体）</p>
		<p>□完了 □未完了 <input checked="" type="checkbox"/>一部未完了</p>

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)地域子育てサロンのモデル事業の実施 企画委員とお店が中心となったモデル事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ママに食事しながらゆっくり交流してもらう（5月・TiTicafe）、</li> <li>・パンを使った離乳食づくり（6月・アムフルス）</li> </ul>	
	<p>(2)サロンや運営のための支援策の検討 前年度のサロンや運営のための支援策の検討結果を踏まえ、地域主体の子育てサロンを実現するために必要となる支援策等についてのアンケートを実施し、認証制度や補助制度などを検討します。</p>	<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

地域みんなで子どもたちの居場所づくり事業①

子育て支援課

企画趣旨

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の間を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。

成果目標（令和7年度までに）

- 子どもの居場所づくり活動 3か所以上
- 子どもの居場所づくり活動のネットワークの構築

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 子どもの居場所づくりについて調査研究	子育て支援課 教育推進課	→				
2. 子どもの居場所づくりイベントの開催	子育て支援課	→				
3. 子どもの居場所づくり活動の支援策の検討	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等		→			
4. 子どもの居場所づくり活動を広げるフォーラム、体験事業の実施	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等			→		
5. 居場所づくり活動のネットワークの構築	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等				→	

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)子どもの居場所づくりの調査研究 調査未実施地区の巡回を行います。各調査結果と本事業における対象者や居場所のあり方を報告書として整理します。</p> <p>(2)子どもの居場所づくりイベントの開催 引き続き、子育て支援センター事業を活用し、様々な団体と連携し、子どもの居場所づくりにつながるイベント等を試験的に実施します。</p> <p>(3)子どもの居場所づくり活動の支援策検討 団体や個人への聞き取り調査を続け、支援策の検討を行います。</p>	<p>(1)子どもの居場所づくりの調査研究 巡回調査時に子どもが遊んでいた場所を、新たな居場所の候補地として、地図上に印し、子どもの居場所づくりの団体（8団体）とのヒアリング内容を報告書としてまとめ、整理しました。</p> <p>(2)子どもの居場所づくりイベントの開催 地域の高齢者サロンや子育て支援事業者と連携した「遊び」と「食」のイベントを試験的に実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こどもまつり（11月3日・参加者72名）</li> <li>みんなで遊ぼうはじめてのあそび（12月28日・参加者49名・大学生ボランティア協力）</li> <li>こども食堂（2月5日・おにぎり弁当50食・道仏集会所元気クラブ協力）</li> <li>逃走中（3月20日・参加者34名・アンフィニ、ゆうやけひろば協力）</li> </ul> <p>また、関係各所との連携によるイベントの実施に向けた協議を行いました（令和4年5月から実施予定）。</p> <p>(3)子どもの居場所づくり活動の支援策検討 （1）の調査結果、（2）の試験的なイベント等の実施をとおして、支援のあり方や具体的な支援策の構築に向けた知見や課題等を検討しました。</p>

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上 期	<p>(1)子どもの居場所づくりイベントの開催 活動の担い手の発掘、活動に対する支援策の検討のため、引き続き地域の様々な団体と連携したモデル事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで創る子どもの居場所（5月）</li> <li>・いっしょにあそぼうよ！百間中であそぼう！こども食堂（7月）</li> </ul>	
	<p>(2)子どもの居場所づくり活動の支援策の検討 前年度下期の調査検討を踏まえ、補助金やふるさと納税の活用、産官学連携等、様々な支援策を検討します。</p> <p>(3)子どもの居場所づくり活動を広げるフォーラム、体験事業の実施 令和4年度下期の体験事業の実施に向けて、担い手の候補となる団体等への埼玉県の講師派遣制度を活用した講座の企画、検討を行います。居場所づくりサポーターの募集、新たな子どもの居場所を増やす取り組みを行います。</p>	

企画趣旨

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の間を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。

成果目標（令和7年度までに）

常設の教育支援センター（適応指導教室）の設置

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 地域・学校の実態把握及び教育支援センター（適応指導教室）の在り方の検討	教育推進課	→				
2. 子育て支援課及び福祉課との連携体制の構築（調査研究・ネットワーク構築）	子育て支援課 教育推進課 福祉課	→				
3. 必要な施設改修・設備・備品等の整備及び人材の確保	教育推進課	→				
4. 包括的な支援体制の構築及び拡充の検討	教育推進課	→				
5. 教育支援センター（適応指導教室）設置条例の制定	教育推進課	→				
6. 教育支援センター（適応指導教室）の開設及び運用	教育推進課	→				

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)教育支援センターの在り方の検討 設置に係る検討会議において、基本コンセプトに基づく運用に関する具体についてとりまとめます。</p> <p>(2)施設整備及び人材確保に向けた準備 ・施設設備の改修及び備品購入を行います。 ・会計年度任用職員の募集・面接・採用に関する事務手続きを行います。</p> <p>(3)包括的な支援体制の構築 学校教育の視点から、教育支援センターを核とした、不登校児童生徒への包括的な支援の在り方について検討します。</p> <p>(4)条例の制定 12月議会で条例について提案します。</p>	<p>(1)教育支援センターの在り方の検討 上期で把握した内容も踏まえて、町内小中学校長の代表者・教育相談員・教育委員会事務局から成る検討会議を3回（10月22日、11月2日、11月19日）実施し、基本コンセプト及び実際の運用に関する具体を決定しました。</p> <p>(2)施設整備及び人材確保に向けた準備 施設の整備（外壁の改修、壁クロスの張り替え、照明のLED化、必要備品の購入等）を行い、子供たちにとっての居心地のよい場所となるような空間を作りました。 また、会計年度任用職員の募集・面接を行い、4つの職種（教育支援センター長1名、教育相談員1名、教育支援員Ⅰ種2名、教育支援員Ⅱ種1名）それぞれの職務内容に適する、多様な人材を採用しました。</p> <p>(3)包括的な支援体制の構築及び拡充の検討 子育て支援課や福祉課との情報共有を中心とした連携を行い、不登校等児童生徒が必要に応じて様々な機関とつながることができるような体制を整えました。</p> <p>(4)条例の制定 12月議会に「宮代町教育支援センター設置及び管理条例」を上程し、可決されました。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了	

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p><b>(1)包括的な支援体制の構築及び拡充の検討</b>            関係他課や諸機関との情報交換・共有を定期的に行い、個々の児童生徒の状況に応じた支援ができるようにしていきます。</p> <p><b>(2)教育支援センターの開設及び運用</b>            教育支援センターを4月1日に開設し、教育相談及び適応指導教室の利用者の実態等を踏まえて、よりよい支援ができるよう運用方法の見直し、改善を図っていきます。</p> <p>また、ホームページや広報を活用し、児童生徒及び保護者を中心に教育支援センターに関する情報発信を行います。</p>	
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

企画趣旨

地域づくりを担う人材やグループを生み出すため、様々な世代が定例的に集まり、地域の課題ややりたいことなどを語り合う場を設けます。様々な学び合いや実験的な取り組みを生み出し、参加者同士が触発される場とします。

成果目標（令和7年度までに）

新たなグループ 10 団体

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 実施方法の検討	町民生活課 指定管理者	→				
2. モデル事業の実施	町民生活課 指定管理者	→				
3. 運用の開始、随時見直しの実施	町民生活課 指定管理者		→			

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)モデル事業の実施 参加者募集方法、会場設定、定員数等を検討し、指定管理者と町の役割分担を調整してモデル事業を実施します。 (2)実施方法の検討 モデル事業を踏まえて、令和4年度の実施方法を決定します。	(1)モデル事業の実施 参加者募集方法、会場設定、定員数等を検討し、指定管理者と町の役割分担を調整してモデル事業を実施しました。全5回の開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により4回が延期となったため、令和4年度も引き続き開催することとしました。 モデル事業1回開催(3月25日・参加者7人) テーマ「町民まつりについて語り合おう！」 (2)実施方法の検討 令和4年度に実施するモデル事業を踏まえ、引き続き検討していくこととしました。
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1) モデル事業の実施 令和3年度に延期となったモデル事業（全4回）を実施します。 テーマ「町民まつりについて語り合おう！」 (2)実施方法の検討 モデル事業を踏まえて、指定管理者とともに本運用における実施方法を決定します。 (3)運用の開始、随時見直しの実施 新たなテーマを発掘し、本運用を開始します。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

定年を迎えた世代が今までつながりが希薄であった地域で生き生きと活躍するため、地域デビューのきっかけづくりとなるイベントやワークショップなどを開催します。

成果目標（令和7年度までに）

地域活動を始めた人 100人

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. シニアはじめて講座の開催	健康介護課 社会福祉協議会		→			
2. 縁じょい通信の発行	健康介護課 社会福祉協議会	→				
3. 縁じょい交流会の開催	健康介護課 社会福祉協議会	→				

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)縁じょい通信の発行 地域における活動に関心を持っていただくため、身近な情報を掲載した「縁じょい通信」を発行します。</p> <p>(2)縁じょい交流会の開催 「縁じょい交流会」を12月に開催し、手話ダンスや障がいのある方も参加できるダンス講座を行います。</p> <p>(3)シニアはじめて講座の開催 来年度に実施予定だった「シニアはじめて講座 スマートフォン講座」を12月に前倒しして開催します。</p>	<p>(1)縁じょい通信の発行 増刊号（11月1日発行）、第13号（2月1日発行）を発行しました。増刊号では「縁じょい交流会」の宣伝、第13号では活動報告と地域の助け合い団体インタビュー（宮代台みどりの会）を掲載しました。</p> <p>(2)縁じょい交流会の開催 「縁じょい交流会」を開催（12月5日、8日）しました。5日の手話ダンス×健康講座には約55名、8日の介護予防体操・ダンス講座には約95名の参加がありました。</p> <p>(3)シニアはじめて講座の開催 宮代町プログラミング・ラボを講師としてお招きし「シニアはじめて講座 スマートフォン体験会」を開催（12月3日、9日 参加者7名）しました。</p> <p>(4)地域活動を始めた方 西原自然の森フェスタ期間中、縁じょいメンバーに33名の方が登録されました。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了	

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)シニアはじめて講座の開催準備 下期の実施に向けて、企画、講師の選定を行います。</p> <p>(2)縁じょい通信の発行 地域における活動に関心を持っていただくため、身近な情報を掲載した「縁じょい通信」（6月予定）を発行します。</p> <p>(3)縁じょい交流会の開催準備 下期の実施に向けて、企画、講師の選定を行います。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

再整備される旧ふれ愛センターを拠点に、社会福祉協議会と連携して、今日的な社会課題に対応したセミナーやイベントを開催し、ボランティアの裾野を広げます。ワークショップや交流会など、福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくりも支援します。

[里山体験事業編、移築民家活用編との連携事業]

成果目標（令和7年度までに）

- ボランティアの育成 50人以上
- 福祉推進員の確保 30人以上
- 福祉団体の連絡ネットワークの発足

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 社会課題に対応したセミナーやイベントを開催	福祉課 社会福祉協議会					
2. 福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり	福祉課 社会福祉協議会					

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下 期	<p>(1)社会課題に対応したセミナーやイベントの開催に向けた準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進委員の選定 地区別に候補者の選定(今年度7名)</li> <li>・見守り声掛け店の募集 商工会と連携し、協力店の確保(今年度10店舗)</li> <li>・セミナー、イベントの企画 地域福祉推進委員養成講座の実施 フードドライブ養成講座の実施 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施</li> </ul> <p>(2)福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「西原自然の森フェスタ2021」の開催 庁内各課と連携し、障がい者だけではなく、子どもたちやその両親、高齢者、学生等、さまざまな方々が一緒に集える企画や講座等を実施することで、共生社会の実現に向けたイベントを開催します。</li> </ul> <p>福祉分野では、すてっぴ宮代での「こころをつなぐ展示会」の開催や福祉・介護施設の作品展・施設紹介ブースの設置等を行います。</p> <p>今回のイベントを契機に、福祉団体同士に限らず、幅広い分野との相互連携に向けた話し合いを行います。</p>	<p>(1)社会課題に対応したセミナーやイベントの開催に向けた準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進委員の選定 縁じよいの登録メンバーを中心に地域福祉推進員の募集を行いました。(8名登録)</li> <li>・見守り声掛け協力店の募集 商工会と連携しながら個別に地域のお店を訪問し、地域の見守り体制の強化を図りました。(16店舗申込)</li> <li>・セミナー、イベントの企画 フードドライブの取組を広めるため、郵便局や新しい村に呼び掛けを行い、ステーション(食料を集める場所)を町内に設置(6か所)しました。また、町や社会福祉協議会の広報誌等でフードドライブのボランティアを募集しました。(9名登録)</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、各種養成講座及び災害ボランティアセンター立ち上げ訓練は中止または延期となりました。</p> <p>(2)福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり</p> <p>西原自然の森フェスタ2021を開催(12月3日～9日・来場者1,000名)し、庁内各課と社会福祉協議会が連携して、障がい者だけではなく、子どもたちやその両親、高齢者、学生等、さまざまな方々が一緒に集える企画や講座等、共生社会の実現に向けたイベントを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサル野球(参加者150名)</li> <li>・宮代町スポーツ吹矢連盟による健康吹矢講習会(参加者20名)</li> <li>・フードパントリー&amp;介護・生活困窮なんでも相談会(参加者61名)</li> </ul>

	実施予定	実施結果
下期		<p>福祉分野では、すてっぷ宮代での「ところをつなぐ展示会」の開催や福祉・介護施設の作品展示・施設紹介ブース等を設置しました。(障がい者団体 3 団体、高齢者団体 3 団体)</p> <p>また、町内外の中学、高校、大学生もイベントに参加して、官民学の連携を図りました。(日本工業大学、杉戸農業高校、百間中学校等)</p> <p>上記イベントの他、社会福祉協議会との共催で宮代町外交官の片桐仁さんの作品展示会を実施(3 月 13 日～3 月 27 日・来場者 1451 名)し、町内外の障がい者団体(3 団体)の出店協力があったことで、イベントの盛り上げ、今後の相互連携につながりました。</p>
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未完了

#### 進捗状況 (令和 4 年度)

	実施予定	実施結果
上期	<p><b>(1)社会課題に対応したセミナーやイベントの開催</b></p> <p>生活困窮世帯やひとり親世帯へ食料品を配布するため、町内 6 カ所に設置したフードドライブステーションにおける食料品の回収や仕分け、在庫管理等を行うボランティアを養成します。</p> <p>【町】</p> <p>社会福祉協議会と連携してボランティア養成講座を実施します。また、(仮称)地域福祉推進員について、課題の整理、社会福祉協議会との役割分担を行い、配置、活動支援を実施します。その他、フードドライブステーション拡大に向けた調整を行います。</p> <p>【社会福祉協議会】</p> <p>令和 3 年度に登録済のボランティア(15 名)を対象に実際の活動が開始できるようフードドライブ事業に伴うボランティアの養成講座を検討、実施します。その他、社会課題にあったボランティアの養成講座を検討します。</p> <p><b>(2)福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり</b></p> <p>福祉団体に限らず、共生社会の実現に向けて、地域に必要なプラットフォームのあり方を検討します。</p> <p>【町】</p> <p>西原自然の森ミニフェスタを実施します。また、下期に開催予定の西原自然の森フェスタ 2022 に向けた準備を行い、イベントの調整とあわせて社会福祉協議会とともにプラットフォームの制度設計を検討します。</p> <p>【社会福祉協議会】</p> <p>西原自然の森フェスタ 2022 の実施に向けて、各団体と連携を図り、プラットフォームの制度設計を検討します。</p>	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

生涯を通じて健康で活気ある日々を過ごすためには、若いうちから健康に対する意識をもつことが大切です。若い世代（20代～40代）の健康への関心を高めるため、オンラインによる教室や相談などライフスタイルに合わせたアプローチをします。

成果目標（令和7年度までに）

20代～40代で健康づくりに取り組んでいる人の割合 令和3年度アンケート調査から10%増

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. オンライン相談事業の実施	健康介護課	→				
2. 若い世代の健康に関する情報収集	健康介護課	→				
3. 新規健康づくり事業の実施方法及び「健康マイレージ事業」利用拡大に向けた取組内容の検討	健康介護課	→				
4. 検討結果に基づき、各種健康づくり事業の積極的周知及び実施	健康介護課		→			
5. アンケート調査による評価・検証	健康介護課					→

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)オンライン相談事業の実施 オンライン相談事業の利用促進に向け、周知を行います。</p> <p>(2)新規健康づくり事業の実施方法の検討 アンケート調査結果をもとに、新規事業について検討を進めます。</p> <p>(3)「健康マイレージ事業」利用拡大に向けた取組 町内を歩いて巡る“健康ワードラリー”を開催します。さらに、上期に作成したチラシを広く町民に配布し、健康マイレージ事業の利用を促進します。</p>	<p>(1)オンライン相談事業の実施 オンライン相談の利用促進に向けチラシを作成し、来所者に周知しました。また、特定保健指導にて、オンライン面接を2件実施しました。</p> <p>(2)新規健康づくり事業の実施方法の検討 アンケート調査から、特に要望のあったイベントの休日開催、自宅で行い始める運動、食の課題解決に焦点を当てた新規取組を検討しました。</p> <p>(3)「健康マイレージ事業」利用拡大に向けた取組 10月と2月に新規アプリ登録キャンペーンを行いました。登録方法を記載したチラシを作成し、10月には小・中学校を通じて保護者宛に約2,200枚、2月には約1万世帯に配布しました。 また、ウォーキング啓発イベント“健康ワードラリー”を開催（10月15～31日）しました。422名からキーワードの応募があり、うち20代～40代は110名でした。 これらの取組の結果、令和3年度の健康マイレージ参加者は前年度から744名増の3,516名となりました。増加した744名のうち20代～40代は326名となっています。この年代における令和2年度新規登録者は174名であったことから、前年度より約1.9倍と大幅に増加しました。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了	

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)オンライン相談事業の実施 引き続き広報やホームページ、チラシ等で周知を行い、要望に応じて相談事業を行います。</p> <p>(2)検討結果に基づき、各種健康づくり事業の積極的周知及び実施 新規事業として6月に食のフォトコンテストを開催、7月からはオンラインによる運動プログラムを開始し、町民の健康づくりを促進します。周知には広報やホームページ、チラシの配布に加え、SNSを積極的に活用し、事業のPRを行います。</p>	
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

企画趣旨

互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会を実現するため、人権や平和に関する啓発活動を実施します。

成果目標（令和7年度までに）

人権・平和に関する啓発事業に参加した市民の意識・関心が向上した割合 80%

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 人権尊重意識の啓発事業	総務課 教育推進課	—————▶				
2. 学校における人権教育	総務課 教育推進課	—————▶				
3. 生涯学習における人権教育	総務課 教育推進課	—————▶				
4. 男女共同参画プランの推進	総務課	—————▶				
5. 性的少数者（LGBT）への理解促進と支援	総務課	—————▶				
6. 平和への意識を高めるための啓発活動の推進	総務課	—————▶				

進捗よく状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p><b>(1)人権教育研修会の実施</b> 正しい人権感覚を養うため、教職員等を対象に研修会を実施します。</p> <p><b>(2)人権出前講座の実施</b> 出前講座のメニュー「みんなで学ぼう身近な人権」を引き続き実施します。内容は随時更新していきます。</p> <p><b>(3)男女共同参画セミナーの実施・情報誌ふらふらの発行</b> 男女共同参画の意識づくりや固定的性別役割分担意識の解消を図るため、男女共同参画社会推進会議のメンバーとともにセミナーの実施及び情報誌の発行を行います。</p> <p><b>(4)性的少数者（LGBT）への理解促進と支援</b> 性的少数者への理解を深めるため、町職員を対象に人権・男女共同参画職員研修を実施します。</p>	<p><b>(1)人権教育研修会の実施</b> 正しい人権感覚を養うため、町職員、教職員等を対象に人権問題合同研修会を実施（1月27日・図書館ホール・参加者45名）しました。</p> <p><b>(2)人権出前講座の実施</b> 出前講座のメニュー「みんなで学ぼう身近な人権」を用意しましたが、申請はありませんでした。</p> <p><b>(3)男女共同参画セミナーの実施・情報誌ふらふらの発行</b> 男女共同参画の意識づくりや固定的性別役割分担意識の解消を図るため、男女共同参画社会推進会議のメンバーとともにセミナーの実施及び情報誌の発行を行いました。男女共同参画セミナーについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場による開催を中止し、動画配信のみ実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌ふらふら（広報12月号特集）</li> <li>・男女共同参画セミナー動画配信（1月31日～3月31日・視聴者27名）</li> </ul> <p><b>(4)性的少数者（LGBT）への理解促進と支援</b> 性的少数者への理解を深めるため、町職員、町議会議員を対象に人権・男女共同参画職員研修を実施（10月22日・図書館ホール・参加者29名）しました。</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/>完了   <input type="checkbox"/>未完了   <input type="checkbox"/>一部未完了</p>	

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p><b>(1)人権尊重意識の啓発事業</b> 正しい人権感覚を養うため、教職員を対象に教職員人権教育研修会を実施します。</p> <p><b>(2)学校・生涯学習における人権教育</b> 出前講座のメニュー「みんなで学ぼう身近な人権」、「男女共同参画社会がまちを変える！」を用意します。</p> <p><b>(3)男女共同参画プランの推進</b> 男女共同参画の意識づくりや固定的性別役割分担意識の解消を図るため、男女共同参画社会推進会議において、セミナー及び情報誌について検討します。</p> <p><b>(4)性的少数者（LGBT）への理解促進と支援</b> 性的少数者への理解を深めるための人権・男女共同参画職員研修の準備を行います。</p> <p><b>(5)平和への意識を高めるための啓発活動の推進</b> 「～ヒロシマ・ナガサキ～原爆写真展」と朗読劇「私たちと原爆」を開催します。</p>	
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input type="checkbox"/>一部未完了</p>

チームみやしろ会議

企画財政課

企画趣旨

東武動物公園駅西口周辺エリアを対象に、東武動物公園や日本工業大学などのキープレイヤー同士が連携する組織を設立し、地域のブランド力向上やイメージアップを図ります。

成果目標（令和7年度までに）

チームみやしろ会議をきっかけとした新たな活動の誕生 年3件

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. チームみやしろ会議のコンセプトの整理と会議の設置	企画財政課	→				
2. チームみやしろプラットフォームの検討と試行	チームみやしろ会議		→			
3. チームみやしろプラットフォームの本運用	チームみやしろ会議			→	→	→
4. チームみやしろ会議のプレイヤーによる実践	チームみやしろ会議		→	→	→	→

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>チームみやしろプラットフォームの試行と本運用に向けての検討</p> <p>「この人の話が聞きたい チームみやしろ実験版」を毎月定期的に開催し、引き続き本運用に向けた課題の抽出と解決策の検討を行います。</p>	<p>チームみやしろプラットフォームの試行と本運用に向けての検討</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程の一部を延期としましたが、上期に続き「この人の話が聞きたい チームみやしろ実験版」を開催（10月8日、11月5日、12月3日、1月7日、参加者延べ90名）しました。また、会議の中で第5次総合計画の各事業を紹介するとともに町担当者との橋渡しを行いました。</p>
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input checked="" type="checkbox"/>一部未完了</p>

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>(1)チームみやしろプラットフォームの検討と試行</p> <p>「この人の話が聞きたい チームみやしろ実験版」を定期的に開催（上期で3回以上）し、引き続き本運用に向けた課題の抽出と解決策の検討を行います。</p> <p>(2)チームみやしろ会議のプレイヤーによる実践</p> <p>「この人の話が聞きたい チームみやしろ実験版」の過去の参加者をはじめ、チームみやしろ会議で繋がった方同志で新たな活動を始めた実例を調査します。また、実例の紹介に向けて情報の蓄積を行います。</p>	
		<p><input type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>未完了 <input checked="" type="checkbox"/>一部未完了</p>

企画趣旨

現実に起こりうる災害を想定し、行政、消防団はもとより、自主防災組織、学校等の関係団体とともに、実際の避難行動の一連の流れを体験する防災訓練を実施し、防災力を強化します。

成果目標（令和7年度までに）

自主防災会訓練実施率 100%

我が家の避難計画「マイ・タイムライン」の作成率 50%

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 合同の実働訓練の実施	町民生活課 関係団体	→	→	→	→	→
2. 実践的なテーマによる自主防災会の訓練の実施	町民生活課 自主防災会	→	→	→	→	→
3. 実践的な訓練等を踏まえた防災体制の見直し	町民生活課		→	→	→	→
4. 民間企業等との災害協定の拡充	町民生活課	→	→	→	→	→

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)地域防災計画の見直し 各課照会、防災会議開催、パブリックコメントを実施し、地域防災計画の改訂を行います。</p> <p>(2)合同の実働訓練の実施 避難所開設実働訓練を実施し、意見集約を行い、課題等を抽出します。</p> <p>(3)災害協定の拡充 民間企業等との災害協定締結の拡充に努めます。</p> <p>(4)マイ・タイムラインの普及 我が家の避難計画「マイ・タイムライン」の普及策の検討を行います。</p>	<p>(1)地域防災計画の見直し 町各課照会や防災会議（書面開催）については実施できましたが、資料収集や最新の国勢調査データの反映等に遅延が生じ、予定していた改訂作業を年度内に終了することができませんでした。</p> <p>(2)合同の実働訓練の実施 避難所開設実働訓練を10月17日に実施し、100名の参加がありました。訓練実施後、意見集約により課題を抽出し、改善点等について報告書をまとめました。</p> <p>(3)災害協定の拡充 株式会社バカンと災害時避難所の混雑可視サービスの提供を受ける協定を締結しました。 株式会社東武ストアと災害時における応急生活物資等の協力に関する協定を締結しました。</p> <p>(4)マイ・タイムラインの普及 マイ・タイムライン普及にあたり、動画配信について検討しました。</p>

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p><b>(1) 地域防災計画の見直し</b>                      地域防災計画の改訂を完了し、防災体制の更なる充実を図ります。また、全職員への周知を図ります。</p> <p><b>(2) 実働訓練の実施</b>                      職員向け避難所開設訓練の実施に向けた計画書を作成し、訓練を実施します。</p> <p><b>(3) 実践的なテーマによる自主防災会の訓練の実施</b>                      町から、実践的なテーマを提供し、地域の自主防災訓練の実施を進めます。</p> <p><b>(4) 実践的な訓練等を踏まえて防災体制の見直し</b>                      地域防災訓練を実施し、職員の参加を促し、災害時に向けた防災体制の確立を進めます。</p> <p><b>(5) 民間企業等との災害協定の拡充</b>                      新たな民間企業等との災害協定の拡充に努めます。</p> <p><b>(6) マイ・タイムラインの普及</b>                      防災・防犯マスター講座で、「マイ・タイムライン」の作成の講座を設け、普及を図ります。</p>	<p>□完了 □未完了 □一部未完了</p>

企画趣旨

買い物や電球交換など高齢者の日常生活のちょっとした困りごとをサポートする地域内の助け合い活動の組織化を支援し、広げていきます。

成果目標（令和7年度までに）

新たな助け合い活動を実施するグループ 5 団体以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 高齢者向けサービスの情報伝達	健康介護課 社会福祉協議会		→			
2. 助け合い活動グループの育成	健康介護課 社会福祉協議会		→	→	→	→
3. 助け合い活動グループへの支援	健康介護課 社会福祉協議会		→	→	→	→

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)高齢者向けサービスの情報伝達準備 高齢者向けサービスをまとめた冊子をつくる準備を行います。 (2)助け合い活動グループの育成・支援 活動事例から、助け合いの内容、方法を研究し、地域活動のヒントとして、研究で得た情報を整理します。また、地域の助け合い活動に関心のある方を発掘し、同じ志のある方に引き合わせるための準備をします。	(1)高齢者向けサービスの情報伝達準備 高齢者向けサービスをまとめた冊子に掲載する内容を協議体メンバー（愛称：縁じょい支え合いチーム）に相談し、整理しました。（協議体3回実施） (2)助け合い活動グループの育成・支援 スマートフォン体験会に協力してくれた宮代町プログラミング・ラボが、令和4年度から「スマホ相談会」を定期的に開催することになりました。 株式会社御用聞きと協定締結へ向けた調整を行い、日本工業大学の学生による生活支援を始める準備をしました。 地域で助け合い活動をしている宮代台みどりの会にインタビューを行い、縁じょい通信第13号で紹介しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	(1)高齢者向けサービスの情報伝達準備 高齢者向けサービスをまとめた冊子を作成し必要な人に配布します。 (2)助け合い活動グループの育成・支援 株式会社御用聞きと協定を締結し、地域の助け合いの機運を醸成する取組を行います。また、宮代町プログラミング・ラボによるスマホ相談会を開催します。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

企画趣旨

小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験を通して、子どもたちが興味をもって、自ら学ぶプロジェクトを始動します。

成果目標（令和7年度までに）

理科が好きという児童生徒 80%以上（アンケート調査）

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 日本工業大学の設備、先生に関する情報収集	教育推進課	→				
2. 学校の教育課程の確認	教育推進課	→				
3. 必要な支援方法の検討	教育推進課		→			
4. 日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施	教育推進課		→			
5. 日工大サイエンスプロジェクトの実施	教育推進課		→			

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)学校の教育課程の確認 学校からのアンケート調査結果をもとに、教育委員会として連携したい単元と、日本工業大学として連携可能な単元のすり合わせを行います。</p> <p>(2)必要な支援方法の検討 実施内容から、実施時期を検討し、教育委員会として必要な支援方法を日本工業大学とともに検討します。</p> <p>(3)日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施 実施に向けた情報交換会を定期的に行います。</p>	<p>(1)学校の教育課程の確認 学校からのアンケート調査結果（小学校4校、中学校3校）をもとに、日本工業大学と連携可能な単元のすり合わせを実施しました。</p> <p>(2)必要な支援方法の検討 令和4年度は、2月に須賀中学校で試験的に実施することとし、また、夏季休業期間中に大学教授による教員向けの研修会を実施することとしました。</p> <p>(3)日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施 実施に向け、11月に日本工業大学、12月に須賀中学校、1月に百間中学校との情報交換会を実施しました。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了	

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	<p>日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施 日本工業大学と情報交換会を実施し、時期と授業内容の決定、必要な準備物についての検討を行います。</p> <p>また、教員向け研修についての検討を行い、夏季休業期間に実施します。</p>	
	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了	

公共施設マネジメント計画 2.0

企画財政課

企画趣旨

平成23年11月に策定した公共施設マネジメント計画から10年。新たなマネジメント計画をつくり今後の公共施設のあり方、施設の機能転換など、中期的なビジョンを定めます。

成果目標（令和7年度までに）

公共施設マネジメント計画 2.0 の策定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 策定方針の検討	企画財政課	→				
2. 公共施設マネジメント会議の開催	企画財政課	→				
3. 無作為市民ワークショップの開催	企画財政課		→			
4. 公共施設マネジメント計画の策定	企画財政課		→			
5. 計画に基づく再編へ向けた準備	企画財政課			→		

進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)公共施設マネジメント会議の開催 公共施設マネジメント会議を開催し、引き続き検討を行います。	(1)公共施設マネジメント会議の開催 公共施設マネジメント会議を5回開催し、新たな再編モデルの検討及び第2期公共施設マネジメント計画素案の確認を行いました。
	(2)無作為抽出市民ワークショップの開催 無作為抽出市民ワークショップを開催し、地域に必要な機能等について話し合い、町民の声やアイデアを聞き出します。	(2)無作為抽出市民ワークショップの開催 12月に無作為抽出市民ワークショップ「あったらいいなこんな場所」を開催し、今後のあるべき公共施設の姿について、市民の目線でアイデアや意見をいただきました。（参加者48名）
	(3)公共施設マネジメント計画の策定 上記を踏まえ、新たな公共施設マネジメント計画を策定します。	(3)公共施設マネジメント計画の策定 上記を踏まえ、新たな公共施設マネジメント計画を策定しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	計画に基づく再編へ向けた準備 令和4年4月より本運用となる第2期公共施設マネジメント計画を町広報紙やホームページ等で周知し、各施設の予防修繕について検討を行います。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

## 企画趣旨

社会の変化に対応した最良な教育環境を子どもたちに提供するために、小中学校の適正な配置を進めていきます。

## 成果目標（令和7年度までに）

審議会の答申を踏まえた小中学校の適正配置計画の再検討及び見直し  
見直し後の小中学校の適正配置計画に基づく取組の実施

## 実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 計画の再検討及び見直し	教育推進課	→				
2. 計画に基づく取組の実施	教育推進課		→	→	→	→

## 進捗状況（令和3年度）

	実施予定	実施結果
下期	計画の再検討及び見直し 答申の内容を踏まえ、引き続き、庁内の関係課と意見交換を行うとともに、様々な観点から検討を行います。	計画の再検討及び見直し 庁内の関係課と意見交換を行いました。また、小中学校の再編についての基本的な取組方針の案を作成し、10月に庁内会議に諮り、2月に議会に対して報告を行いました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了

## 進捗状況（令和4年度）

	実施予定	実施結果
上期	計画に基づく取組の実施 須賀小学校の再整備及び公共施設等複合化事業に関する庁内プロジェクトチーム(10名)を立ち上げ、基本構想の検討を開始し、小中学校の再編についての基本的な取組方針について、住民説明会(5、6月)を実施します。 また、基本構想等策定支援業務の委託事業者の選定を行います。	
		<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 未完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了